

## 人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	認知症患者のせん妄による QOL 低下を予防するための看護介入
所属科	430 病棟
研究責任者	鍋谷 遥香
研究期間	倫理委員会承認後～2021 年 12 月まで
研究概要	<p>○目的</p> <p>環境調整の視点から認知症患者のせん妄発生予防やせん妄が発生した際の症状の軽減・早期離脱に向けた看護介入の方法について振り返り、QOL の低下予防に向けた効果的な看護介入に繋げていく。</p> <p>○対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 70 歳代男性</li> <li>・ 入院時 ADL 自立、安全対策により ADL が低下し車椅子部分介助レベルとなった</li> <li>・ 既往歴：認知症、高血圧、細菌性肺炎、大腸ポリープ</li> <li>・ 入院期間：2021 年 1 月 27 日～2 月 10 日</li> <li>・ COVID-19 感染のため感染症内科に入院</li> <li>・ 入院初日から徘徊や妻を探す言動がみられ、入院 3 日目の夜間からせん妄（徘徊、ベッド上で立ち上がる、ベッドからの転倒）の出現あり。当日の日勤帯からリエゾン介入依頼・開始</li> <li>・ 入院初日から安全対策の使用開始</li> </ul> <p>○方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) せん妄の因子を評価し、発生要因を抽出する（直接因子・促進因子・準備因子）。</li> <li>2) PEAP（Professional Environmental Assessment Protocol：認知症高齢者への環境支援のための指針）を利用し 8 つの次元（目標）から療養環境を評価する。</li> <li>3) 使用薬剤（オピオイド、向精神薬、ステロイド剤等）、血液データ（Na、Mg、Ca、NH3、血糖値）からせん妄を引き起こすリスクの有無をモニタリングする。</li> <li>4) リエゾン介入前後のせん妄症状についてリエゾン回診・リエゾン診察記事・日々の看護記録・看護問題に対する記録をもとに振り返る。</li> </ol>

	<p>5) 日々の看護記録・看護問題に対する記録・安全管理の記録（安全対策使用時の記録）・リエゾン回診・リエゾン診察記事を参考に DST（Delirium Screening Tool：DSM-IVのせん妄診断基準に則ったチェックリスト）を用いてせん妄の発生兆候、せん妄の悪化・改善の評価を行う。</p> <p>6) 日々の看護記録・看護問題に対する記録・安全管理の記録（安全対策使用時の記録、転倒転落アセスメント）を参考に入院時、3日目、7日目、その後は1週間毎に当院の「（老人保健施設用）日常生活動作（ADL）調査票」を用いて入院時のADLとどのように変化したか評価する。</p> <p>○利用する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参照記録（日々の看護記録・看護問題に対する記録・安全対策使用時の記録・転倒転落アセスメント・リエゾン回診・リエゾン診察記事）</li> <li>・PEAP（Professional Environmental Assessment Protocol：認知症高齢者への環境支援のための指針）</li> <li>・DST（Delirium Screening Tool：DSM-IVのせん妄診断基準に則ったチェックリスト）</li> <li>・（老人保健施設用）日常生活動作（ADL）調査票</li> </ul>
倫理的配慮・個人情報保護の方法について	<p>研究データはパスワードをかけ他者が開くことができないようにする。紙媒体として出力した際は鍵のかかる場所に保管し、研究終了後は速やかに裁断処理する。また得られた情報は個人が特定されないように匿名とし事例検討以外に使用しない。</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問合せ先までご連絡ください。</p>
臨床研究登録の有無	<p><input checked="" type="radio"/>・有（臨床研究登録番号： ）</p>
研究の問合せ先	<p>公益財団法人 東京都保健医療公社 荏原病院 住所：〒145-0065 東京都大田区東雪谷 4-5-10 TEL：03-5734-8000</p>
結果の公表について	<p>2021年12月22日に発表を行う。 発表の際はプライバシーに十分配慮する。</p>
利益相反について	<p>利益相反は起こらない。</p>